

7/20 エキゾチックな夜の動物園

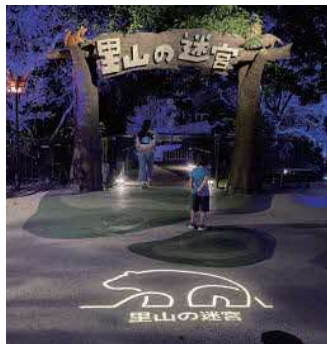
沖縄の新たな夜間観光地の創出や、地域の誇りとなる憩いの場を作ることなどを目的とした夜の動物園「NIGHT ZOO」の開始に伴い、沖縄こどもの国でライトアップ点灯式が行われました。

今年の夏のテーマは『オキナワエキゾチックナイト』。

ライトアップが行われると、園内のあらゆる所が幻想的な雰囲気に包まれ、5月にオープンしたばかりのスプラッシュパークでは子どもたちが歓声をあげてはしゃぐ姿が見られました。

ステージでは、3月に誕生したジャガーの赤ちゃん2頭の命名式が行われ、名前は「ニライ」「カナイ」と発表されました。13人から同名での応募があり、名付け親の一人となった市内在住の照屋賢士郎君(6歳)は「沖縄らしくて、双子にぴったりだから」と名前に込めた思いを述べました。

全国初となる常設での夜間開園は、夏以降も毎週土日と祝日に行われます。



7/13 第39回ピースフルラブ・ロックフェスティバル2024



コザロックの祭典沖縄市市制施行50周年記念「第39回ピースフルラブ・ロックフェスティバル2024」がコザ・ミュージックタウン1階の特設ステージで行われました。

高校3年生で構成する「LOUD SPEAKER」からはじまり、本市と兄弟都市の大阪府豊中市のクラシカルロックを演出した「RABI」。沖縄市出身、同じ中学の同級生で構成する「轟」。沖縄県唯一のグループサウンズバンド「SSカンパニー」。胡屋のライブハウスZigzagをメインに活動している「Okinawan Rock Trio」。オールディーズやディスコナンバーを中心に演奏した「REVERSE」。トリは昨年30周年を迎えたベテランバンドの「JET」が飾り、熱いステージを繰り広げ約1,000人の観客を魅了しました。



7/
19・20

第8回沖縄フェスティバル

東海市に沖縄の風を巻き起こす



姉妹都市である愛知県東海市において「第8回沖縄フェスティバル」が開催されました。

19日に、登川青年会によるエイサー演舞を皮切りにフェスティバルが始まりました。なかのまちヤカラーズによる「綾庭の宴」では、琉球王朝時代に舞い戻り、薩摩侵攻、沖縄戦と歴史をたどりながら琉球舞踊など沖縄の伝統芸能を鮮やかに披露し、沖縄の風を吹かせました。

20日は、東海地方の沖縄県出身者やエイサーが好きな人々で構成するエイサー団体らが出演。東海市の職員らで構成される「東の町エイサー」は、中の町青年会とコラボレーションで演舞を披露しました。

2日間にわたる沖縄フェスティバルの最後、登川青年会の演舞で会場の興奮は最高潮に達しました。カチャーシー後にアンコールがかかり、2度目のカチャーシーに突入。東海市に沖縄の夏を届けました。

「鉄とランの街」
東海市

東海市は愛知県の知多半島の西北部に位置する人口約11万3千人の都市です。中部圏最大の鉄鋼基地として発展しており、洋ランの栽培も盛んであることから「鉄と洋ランの街」と呼ばれています。



7/14・21 沖縄の夏の風物詩 エイサーまつり



市内各地でエイサーまつりが開催されました。

14日に若夏公園で「第17回あがりな〜ざとエイサーまつり」が行われ、東青年会や美里青年会など市内外から8つの青年会が出演し、勇壮かつ儚い演舞を披露しました。

21日に山内中学校で「第22回風山祭」が行われました。風山の会の南桃原青年会、久保田青年会、山里青年会、諸見里青年会、市内外のエイサー団体のほか、ダンス団体も出演。「第5回やまもも花火祭」が同時開催されました。

会場は心待ちにした多くの来場者で賑わいました。



50th おきなわ市トピックス

7/21 第1回ちゅら島清掃 in 潮乃森

空き缶や吸い殻等のごみの散乱を防止し、快適で美しい生活環境を実現するため「第1回ちゅら島清掃 in 潮乃森」が開催されました。

潮乃森ビーチフェスタ2024の会場となる県内最大級900mのロングビーチを78団体175人が清掃し、もやせるごみや草木など2,200kgのごみを集め、ごみの散乱防止・環境美化に関する意識の高揚を図りました。



7/31 潮乃森イベントを前に避難訓練

ビーチフェスタ開催を前に、潮乃森ビーチにて避難訓練が行われました。イベント実施団体の他、バリアフリーネットワーク会議や自治会等から約100人が参加しました。

最大クラスの津波発生を想定し、ビーチから約250mの距離にある高さ7.9mの盛り土(一時避難場所)までの避難、誘導を行いました。全員が盛り土へ到着し、消防への通報まで約7分で完了しました。



8/3 潮乃森ビーチフェスタ2024



「特別な体験を潮乃森ビーチフェスタで!」をキャッチフレーズに「潮乃森ビーチフェスタ2024」オープニングセレモニー及び海開きが行なわれました。

潮乃森は整備が進む中、8月の毎週土・日曜日は特別にビーチが開放され海水浴のほか、今年はバナナボート、SUP、海上アスレチック、スラックライン等のマリナクティビティの無料体験が行われました。

8月8日に日向灘で発生した地震の影響により8月10日、11日のイベントは9月7日、8日に順延となりました。



潮乃森のSDGs



ゼロカーボンシティ宣言をしている潮乃森地区では、ビーチフェスタ期間中、県内初の完全循環型トイレ「エコまるくん」*の実証実験を行っています。

*上下水道、電力不要で汚水を浄化するトイレ(株式会社エコまるくん)

7/24 エアリアルフープ世界大会で優勝

中村絆愛さん(安慶田小5年)が市役所を訪れ、4月にアメリカで行われた「世界大会エアリアルリンピックス」のプロフェッショナル部門8~10歳クラスで優勝したことを報告しました。同部門の出場および優勝は日本人初です。

中村さんは「ひじで回転する技が好き」と話しました。今後の活躍にも期待が高まります。

*エアリアルリンピックスは、空中に下がったフープを使って回転、坂上り等のパフォーマンスを行う競技「エアリアルフープ」の大会です。



7/29~30 宮里児童センターに鬼ヶ島出現

宮里児童センターで夏休みのイベント、巨大迷路『CAVE QUEST~ももたらう~』が開催されました。

このイベントは、宮里児童センターで活動する「こども運営委員会はびすま」が児童館職員と一緒に考えて手作りで製作し、当日はイベントのキャストとして参加者を楽しませました。

イベントは、参加者が「桃太郎」に任命され、全長10メートルの暗い迷路の中でカードゲームで仲間を増やし、最後に集めた「犬」「猿」「雉」のカードで鬼退治をするゲームの世界のような迷路です。



7/9 「少年の主張大会」で堂々発表

第39回沖縄市「少年の主張大会」が沖縄市農研研修センターで行われました。

市内中学校の9人の代表生徒は、これまで経験したことやこれからの夢、希望などを保護者や関係者らが見守る中、堂々と発表しました。最優秀賞を受賞した仲村優菜さん(越来中3年)、知花柚李さん(宮里中3年)は沖縄市代表として9月2日に行なわれる中頭地区大会に出場します。



7/9 市青年団協議会の活動報告

各自治会青年会をまとめ、地域の発展と街づくりに努める沖縄市青年団協議会の仲間良成会長と新役員が市役所を訪れ、平田副市長に今年度の活動を紹介しました。

仲間会長は「市制50周年記念という貴重な体験をさせてもらうので、全島エイサーまつりや青年まつりで盛大に盛り上げていきます」と意気込みを語りました。



7/18 市女性団体連絡協議会の活動報告

男女共同参画社会の実現及び市の活性化等を目的に活動する沖縄市女性団体連絡協議会の久高由起子会長らが市役所を訪れ、活動を報告しました。

久高会長は「昨年度はきらめきフェスタのパネルディスカッションにパネリストとして参加し、家庭内の身近な男女共同についての理解を深めた。楽しく活動している姿を見せることで、若い世代にも興味を持ってほしい」と話しました。



7/19 引越し手続きのワンストップ化

沖縄市と株式会社NTTデータ九州、株式会社NTTデータとの引越し手続きのワンストップ化の推進に関する協定の締結が市役所で行われました。

引越し手続きのワンストップ化とは、マイナンバーカードを活用して引越し手続きの効率化を図るもので、この協定を締結するのは全国で4番目になります。



7/25 沖縄県マンゴーコンテスト受賞報告

果樹農家の仲村盛宏さんと新城麻衣子さんが7月11日に行われた第17回沖縄県マンゴーコンテストでの受賞報告とマンゴーの贈呈のため市役所を訪れました。

仲村盛宏、政将さん兄弟は、共同栽培を行い優秀賞、新城さんが優良賞を受賞しました。沖縄市は平成20年にマンゴー拠点産地認定を受けており、令和元年度より沖縄市ふるさと納税の返礼品として活用されています。



7/26 おはなしの森でまってるよ

さまざまな手法で物語の楽しさを伝え、図書館や本により深く親しんでもらうことを目的に「夏休みブックフェスティバル」が、市立図書館で開催され、家族連れや地域のこどもたちなど65人が参加しました。

みんなが参加できる手遊びやクイズが興味を引くとともに、大型絵本の読み聞かせやペープサート(紙人形劇)では、子どもたちは真剣におはなしに聞き入っていました。



50th おきなわ市トピックス

7/27 災害時協力協定締結

沖縄青年会議所と沖縄市社会福祉協議会による災害時における協力体制の協定締結式が沖縄青年会議所会館で行われました。

沖縄青年会議所の大庭恵梨花理事長は「自然災害や大規模事故の災害時応急活動に努めたい」と抱負を語り、沖縄市社会福祉協議会の島田薫会長は「迅速かつ総合的な支援活動を円滑に行えることは心強い」感謝を述べました。



7/30 防災教育プロジェクト

災害時に援護が必要となる障がい者への避難支援訓練が、沖縄東中学校平和ボランティア部などが参加して行われました。

早稲田大学の古山周太郎准教授の指導の下、700mの距離を車イス利用者や弱視の方などへ支援を行いながら避難しました。実習後のまとめ発表で生徒からは、「日ごろは気づかない、ちょっとした段差などの支援の難しさやタオルやロープ等の利用方法などを知り勉強になった」と感想がありました。



7/30 沖縄市老人クラブ大会

「第49回沖縄市老人クラブ大会」が沖縄市民会館大ホールで行われ、市内にある老人クラブ29団体の約600人の会員が参加しました。

大会では、今期90歳を迎える正会員85人に感謝状が贈られ、その他老人クラブ活動の進展等に功績のある個人および団体に対しても表彰状などが贈呈されました。



7/31 名嘉さん親子地域貢献

名嘉千優さん、千菜さん姉妹と父健一さんは、地元の池原、登川、松本公民館や児童センターなどで夏休みの子どもたちに計1,500食の弁当を無償提供しました。地元企業7社から協賛を募り、ゆかり弁当(市登川)へ1回あたり300食、計1500食を注文し、無償提供につなげました。

姉妹は、報道でのゆかり弁当の活動に感銘を受け、「私たちが微力ながら子どもたちの貧困対策に貢献できれば」と今回の活動に至りました。



7/31 比屋根タイガース九州大会出場

少年野球チームの比屋根タイガースが第149回沖縄県学童軟式野球大会で準優勝を収め、11月23、24日に大分県にて開催される「第22回王貞治杯九州学童軟式野球大会」への出場報告のため市役所を訪れました。

キャプテンの宮城潤平さんは「サポートしてくれた方への感謝の気持ちを忘れず沖縄に優勝旗を持って帰って来ます」と意気込みを語りました。



8/1 平和月間開始セレモニー

平和月間開始セレモニーが市役所1階ロビーで行われ、山内副市長の開始宣言とともに平和月間が始まりました。

セレモニーでは、平和大使を代表して中学生大使のガルシア琉菜さん(球陽中2年)が「平和の実現に向けて行動していきたい」とあいさつし、その後全員で平和大使ソング「時代の語り部」を手話とともに披露しました。



8/8 “はっきよい”大相撲沖縄場所開催

大相撲沖縄場所が12月21日に沖縄アリーナで開催されることが決まりました。日本相撲協会の立浪親方、二所ノ関親方らが市役所を訪れました。

立浪親方は「生で見る大相撲の迫力を楽しんでほしいです」、二所ノ関親方は「沖縄アリーナの大きなスクリーンや照明を使った演出が、どうなるか楽しみです」とPRしました。

市役所1階ロビーでは、市内の企業・団体による応援隊の結団式が行われ、開催を後押しします。

県内では5年ぶりの開催となり、巡業には横綱照ノ富士や大関豊昇龍、大関琴櫻など幕内力士ら約200人が参加を予定しています。

沖縄場所では普段の巡業とは違い、トーナメント形式の取組や、禁じ手を演じる「初切」、力士が歌う「相撲甚句」などが楽しめます。



～寄付・寄贈等～

皆様のご厚意に感謝申し上げます。

寄付金等贈呈式を行った皆様をご紹介します。
いただいた寄付金等は、有効活用いたします。

7/9 沖縄バスケットボール株式会社 (代表取締役社長 白木 享)

沖縄市へ
沖縄市市制施行
50周年記念
ユニフォーム



7/16 有限会社三省電気工事 (取締役会長 新城 安雄)

沖縄市育英会へ
寄付金 1,000,000円



7/17 三建設備株式会社 (代表取締役社長 宮里 真由美)

沖縄市育英会へ
寄付金 500,000円



7/23 琉球物流株式会社 (代表取締役社長 金城 樹)

沖縄市社会
福祉協議会へ
サンリオキャラクター
フェスチケット
入場招待券 100枚
プレイ券 400枚



7/23 沖縄アリーナ株式会社 (代表取締役会長 白木 享)

沖縄市社会
福祉協議会へ
サンリオキャラクター
フェスチケット
入場招待券 500枚
プレイ券 900枚



7/24 沖縄バスケットボール株式会社 (代表取締役社長 白木 享)

市内中学校8校へ
琉球ゴールデン
キングスがチーム
練習で使用した
バスケットボール 48個

